

身近な相談相手 藤枝なな あなたの声を市政にしっかり届けます

藤枝ななさんの歩んできた道

●29歳で公的ヘルパーに 福祉への思い

私は29歳の時に立川市役所に入職して以来、福祉部門に31年間勤めてきました。きっかけは1年間闘病して亡くなった父への思いです。

当時、私は幼い子どもたちを抱えて、大好きだった父の看病を十分にできなかったことが心残りでした。また、正義感が強く、共産党に声援を送っていた父の思いを受け継いで、だれもが安心して暮らせる社会をつくりたいという思いもあり、福祉に関わろうと決めました。

●本当に必要とする方に支援が届かないもどかしさ

入職したころは公的ヘルパーとして利用者と直接かかわる仕事にやりがいを感じていましたが、介護保険制度が始まると、徐々に行政と利用者との間に距離ができてきました。

私自身、現場よりもデスクワークが増えて、本当に福祉サービスを必要とする方の声が聞けない、支援が届かないというもどかしさ、不公平さを強く感じてきました。

●身近な相談相手として市民の声を届けたい!

定年を機に村山団地の近くの障害者施設に転職し、利用者一人ひとりと丁寧に関わられるようになりました。しかし今度は、福祉の現場の賃金格差を目の当たりにして、職員が安心して働けるような環境にしなければ、と感じはじめました。

私はこれまでの経験を活かして、みなさんの声をしっかりと市政に届けていきたいと決意しています。

●都営住宅で育ちました 父の思い出

物心ついた頃から立川市の都営住宅で育ちました。父は都バスの運転手で、6人家族を支えるのは大変だったと思いますが、いつも笑いの絶えない温かい家庭でした。

父は子ぼんので、夏には近所の子どもたちと一緒に多摩川や市営プールに連れて行ってくれました。また、正義感が強く、テレビで政治討論番組を見ては「さすが共産党!」と拍手喝采するような人でした。そんな父の影響で、私も社会や福祉のことに興味を持ち始めました。

●子や孫がお世話になっている保育園 保育環境の充実が急務

5人の子ども、4人の孫に恵まれ、保育園には永〜くお世話になっています。保育園は共働きに欠かせない頼もしい味方です。それだけに、最近の保育士による園児虐待などの事件には本当に心が痛みます。

保育職が気持ちにゆとりが持てるような人員配置や、賃金も含めた処遇改善が必要です。大人たちの責任で、子どもたちの健やかな成長を保障する保育環境をつくっていききたいですね。

市民の願い 実現してきた 日本共産党市議団



昨年7月、市内で平和行進に参加

- 国保税、介護保険料の値上げをおさえ、多子減免を実現。
- 国や都のコロナ交付金を低所得者や事業者支援中心に充当。
- 全小中学校の体育館にエアコン設置を実現。
- 村山医療センターの再編・統合計画の撤回を求め、市長と議長連名で政府に要望書提出へ。

力をあわせて 実現させます

■物価高でくらしは大変です

- 国保税・介護保険料・高齢者医療の負担軽減を
- 子どもの医療費は18歳まで完全無料に
- 小中学校の給食費を無料に
- 公共施設は無料に戻して市民が利用しやすく
- 有料ごみ袋の負担軽減を ●補聴器の購入助成を

■都営住宅問題に取り組みます

- 名義承継は子まで認めるように
- 一人でも2DK以上に住めるように
- 訪問客のための駐車場の確保を

■国や都にもあなたの声を届けます

- 消費税5%に緊急減税を
- 物価高に見合った年金額引き上げを
- 平和憲法を守り活かそう
- オスプレイの横田基地配備ストップ
- 多摩モノレールの延伸と合わせてシルバーパスを使えるように

大軍拡・大增税ストップ! 子や孫たちに平和な未来を! 平和憲法を守りましょう